

## 変革の始まり

2014年8月18日

—深化の進むネット・デジタル社会の中で—

山本利久

### はじめに

これはドイツの有力週刊誌シュピーゲル(Spiegel 2014/8/4、32号)と米国の経済学者で社会理論家のジェレミー・リフキンとの「デジタル時代の資本主義と新しい限界費用ゼロ社会の道程」についての対談(質疑)を要約し、若干のコメントを添えたものである。

このところ我が国でも資本主義市場経済を巡る様々な議論が活発化している。貧富の格差拡大、深化する貧困、勤労者間の労働条件・所得の格差、労使関係、生産年齢人口の縮小、財政・社会保障不安、潜在成長率の低下、バランスを欠く労働・資本分配率、経済成長を伴わない過剰流動性と資産インフレ、技術革新の低迷、ネット社会の出現など議論の対象は広範囲に及ぶ。

我が国でも大きな関心と呼んでいるフランスの経済学者トマ・ピケティは、「21世紀の資本」で、「資本主義社会では富と所得の格差が広がる」、としている。

ここで紹介される行動派経済学者のリフキン氏は、長期的視野に立ち、将来を展望しながら、ネット・デジタル社会の進展に焦点を合わせ、制度自体の変革により新たなシステムの登場を期待している。Spiegelの編集者はこの時期、世界的に活動するRifkinの思考と行動を多面的にドイツで紹介する意義を高く評価したものである。

オープンで水平的にネット経由結合されるネット・デジタル社会で、更に相互信頼、セキュリティはどの様に保全されるのか、産業界・経済界のリーダー達の社会人としての思考、欲望、行動様式もそれなりに洗練され、バランスが取れるのだろうか。

この分野でも世界を圧倒的にリードする米国企業だが、日本企業の戦略は果たしてどうなるであろう。関心と呼ぶ。

---

**Jeremy Rifkin 氏**：69歳、この10年来世界で最も影響力を持つ人物に数えられている。

1967年彼は10万人にも及ぶ人々がベトナム戦争に反対して抗議デモを行った所謂「国防省への行進」を組織した一人でもある。経済学者の彼は数多くの国際的に評価の高い書物で、経済並びに社会の視点から技術革新の成果を常に厳しく分析した。彼は取り分け遺伝子工学の過小評価に警鐘を鳴らすと共に新しいエネルギー政策を支持している。

リフキンはこの20年来米国ペンシルヴァニア大学ウォートン・ビジネス・スクールで教鞭をとっている。

**Spiegel**：リフキン先生、貴方は資本主義の時代は終わる、と主張しています。何故その様に考えるのですか？

**Rifkin**：我々は今特別な時代に暮らしている。つまり、我々は今歴史上滅多に起こらない出来事を追求することが出来るのです：それは新しい経済秩序の成立です。その様なことは資本主義が世界の舞台に登場した19世紀初頭以来なかったことです。しかし今、その制度は根底が揺さ振られている。その理由は巨大な技術革新とその成果。

**Spiegel** ; 貴方の主張は大変大胆です。資本主義は経済形態として今も支配的に見えます。何故ならこれまでもそして今も、そして世界の他の地域でも、それは衰えるどころか拡大しているからです。

**Rifkin** ; 資本主義体制は確かに完全には解体していません、少なくとも今まだです。しかし我々は既にハイブリッド経済の成立を見ているのです：つまり一方で資本主義市場経済、そして他方で共有財産の新しい制度です。私はこの新しい連合体を共同型共有権制 (kollaborativen Commons)と呼んでいます。

**Spiegel** ; これもまた貴方の新刊書”限界費用ゼロ社会(Die Null-Grenzkosten-Gesellschaft)”の中心的命題です。その内容は？

**Rifkin** ; 新たな経済構造の形態は、所有権の純粋な支配から離れ、その一部を所有する。物質的利益に駆り立てられる資本主義市場が私利私欲に基づくのに対し、経済協力を依存する世界は協働作業への利権を特徴とする。資本主義体制はそのまま残りますが、しかし著しく縮小する。2050年までに共同型がやがて企業や私経済を排除することになる。我々は既にその道程にいるのです。

**Spiegel** ; それは社会主義体制と資本主義体制の代案に向け、屢懇請されながら未だ登場していない第3の道の様に聞こえます。

**Rifkin** ; 経済形態としての共同型は新しいものではない：15億人以上の人々が世界で、共同銀行、住宅組合、地域水道・エネルギー連合を利用している。しかしデジタル化によって、今や急速に常に新しい形態が生まれている。オンライン・プラットフォーム Airbnb 経由の住宅の一部、自動車の共同利用等だ。大学の大規模なオンライン授業が教育を変えている。つまり我々は至る所でこうした極端な変転を見ている。それらは明らかに伝統的、垂直的、資本主義株主市場とは違う。そしてそれはやがて好ましい進展を見せる。

**Spiegel** ; 何故ですか？

**Rifkin** ; 多くがより安価になるからだ。地球規模の通信費は現在でも20年前に比べ殆ど変わらない。このことは他の産業でも同じ。取引・兵站費は共に下落するので、小規模の共同体企業も世界的に重要な意味を持つ可能性が出てくる。このことは、人々が経済的、社会的に自ら組織する全く新しい機会を提供することになる。大量生産に代わり多数が生産する共有型経済(Share Economy)が、ガンジーが言ったように、これで現実に可能となる。

**Spiegel** ; それは今は強力な経済理論と言うより、ロマンティックな社会的幻想曲に聞こえます。

**Rifkin** ; 私はそうは思わない。この展開は既に何年もの間感知されており、既に文化・メディア業界を事実認識の点で逆転させてしまった。何百万もの人々が音楽、ビデオ、情報そして知識を分け合っており、そしてそれは殆どコストゼロである。音楽産業、メディアそして出版のビジネスモデルも相応に消えてゆく。

**Spiegel** ; しかしそこから資本主義体制の凋落を推し量ることは困難であることはよく知られています。

**Rifkin** ; それは全ての限界コストを消滅させ、やがて他の経済分野に繰り越される変革の始まり。我々は或る種のコストゼロ社会への道程にいる。

**Spiegel** ; 貴方はそれを説明する必要があります。

**Rifkin** ; 各企業はその限界コストを減らそうとする。

**Spiegel** ; 全ての追加生産品に掛かるコスト。

**Rifkin** ; 従って生産性の向上、より高い市場シェア獲得、そして最大限の利益達成が常に求められる。しかし非常に生産的であるために、限界費用が粗ゼロになることを可能にする技術革新の到来を想定する人は実際、誰もいなかった：デジタル化した世界では、モノやサービスは傾向として費用ゼロになる。それと共に利益も消え、市場経済は無用となる。

**Spiegel** ; それはしかし極端な場合、貴方の期待する共同体型経済の興隆以前に、共通の豊かさが終焉することを意味することでしょう。

**Rifkin** ; そのリスクはある。しかしより起こりそうなことは産業や企業がこの新しい世界に適合するようになるだろうと言う事だ。一例としてエネルギー・コンツェルン(企業集団)を取り上げてみよう。彼等は将来、最早供給者として行動するのではなく、どちらかと言えば何千もの小さな共同型エネルギー会社を持つ協力関係者となり、そしてエネルギー・インターネットを経営することになる。

**Spiegel** ; 低い限界費用現象はこれまで、デジタル革命に巻き込まれた産業の一部に限定されています。千枚或いは百万枚の音楽アルバムを販売しても全く違いが生じない。しかし貴方はどうして、こうした展開が急速に他の産業に移行すると考えのですか？

**Rifkin** ; 新しい技術革新の始まりと共に、それが今まさに世界を征服しようとしているのだ。インターネットがその時、事態をすっかりスーパー・インターネットに変えてしまう。ここではエネルギーと自動化した兵站ネットを伴う通信網が、巨大化したシステムに連結される。これが第3の産業革命を引き起こすだろう。

**Spiegel** ; ネットに結びついた機器・機械の世界は、現在まだ初期段階に入ったばかり。

**Rifkin** ; シーメンス、GE、IBM の様な代表的企業の多くは全力を挙げ、こうした地球規模のニューロン(神経)ネットワークに向けたインフラの構築に励んでいる。現在インターネットと接続した機器を物品に連結する凡そ 110 億ものセンサーがある。しかし或る研究は、2030 年までに 1000 億のセンサーが生産現場、倉庫、物流網そして電力網に連結されると予測する。自動車、オフィス、工場そして住宅間で法外な量のデータが流れる。

**Spiegel** ; それは、ここで初めて多くの産業やインターネット企業集団にとり、好ましいビジネスの様に聞こえます。

**Rifkin** ; こうしたデータの流れを誰でも分析、評価することが出来る。それが効率性と生産性を著しく向上し、そして生産と物的商品販売の限界費用を、もう既にデジタル化された商品で起きていると全く同様に、ここでも低減することになるだろう。

**Spiegel** ; それはシステムの変更に至る前に、技術革新に駆り立てられた経済的ブームに至らないのですか？

**Rifkin** ; 経済のパラダイムシフトは滅多に起きるものではない。しかしそれが起きる時は、大抵の場合、新しいテクノロジーに起因する。それが先の第1次産業革命に於ける事例であり、それが今再び広く起りそうだ。

**Spiegel** ; 貴方はデジタル化と蒸気機関の発明や世界の機械化を同一視するのですか？

**Rifkin** ; 当時は蒸気機関、電気、電話、ラジオに安価な石油、鉄道、自動車が続いた。今再び三つの構成要素が同時に現れた：つまり経済運営を行うコミュニケーションの新しい形態、エネルギーを作動させる新たな形態、そして新しい運輸・兵站のメカニズム。

**Spiegel** ; しかし、それは貴方の願う共同体の組織化された経済とどの様な関係があるのですか？

**Rifkin** ; インターネット革命の構造は中央集権化や垂直統合化された企業には適さない。ここでは広範囲の分散化、コラボレーションそして責任分担部が優先される。

**Spiegel** ; インターネット経済はグーグル、アップル、アマゾンの様な巨大な、資本主義下で組織化された多国籍企業によって支配されています。第3次産業革命が第2次と、広域にわたり全く同様に見えることはあり得ないのではないですか？

**Rifkin** ; その通り。デジタル世界の本質は開かれた、透明性のあるシステム。成長は広がりの中に成り立つ：つまりここでは音楽、ビデオ或いは再生可能なエネルギーは分割され、そして次々に順送りされる。3D印刷技術で我々は将来多くの製品を自らが必要とする様に、簡単にデジタル青写真の基盤上で制作することが出来るようになる。タクシーやショウファー・サービス用に電子基盤が詳細に映像化されるUber(筆者註；高級ハイヤー配車サービス)の成功もここにある。

**Spiegel** ; それはどうしてですか？

**Rifkin** ; Uberは既に新しいスーパー・インターネットのあらゆる分野を活用している：つまりスマートフォン経由のコミュニケーション、GPSの地域化そしてそこから生ずる兵站ネットワーク。そして人々は既に自走式ロボット自動車について語っている。こうしたモデルの導入で、我々もまた将来無数の個人所有の自動車が通りから消え、交通問題が軽減されるのではと考える様になる。

**Spiegel** ; 勿論Uberは社会主義、共同体経済より前に、より大きな収益に関心があることはほぼ確かです。でも新しいカリフォルニアのインターネット企業の全てが、その創立者を豊かにするため、そこに居るわけではない、と推量するのは世間知らずです。

**Rifkin** ; 勿論その通りである。グーグル、フェイスブック、ツイッターは莫大な金を稼いだ。そこで彼等は、我々が最低費用で情報財産を分かち合う事の出来る集团的共同体を設立した。勿論皮肉がないわけではない。だから彼等は益々、地球規模のコミュニケーション提供者の形態を受け入れている。従って彼等は独占企業であり、国家により規制されなければならないのか、と言った議論が出る。

**Spiegel** ; こうした集团的共同体が、長く営利企業として業務を行う際、何が起きるのですか？

それは疑わしい場合、新しいテク・エリートを頂点に据えた、他の全ての人々の犠牲の上に豊かになる極端な資本主義に移行することはないのですか？

**Rifkin** ; それは確かに起こり得ることだ。営利志向と公益目的の企業の境界は流動的。しかし結局伝統的産業が次々と屈服する。物理的取引はもう既にオンライン取引の犠牲になっている。そして今後はこと如くその様になる。

**Spiegel** ; 勿論強力な後退闘争がないわけでありませぬ。それぞれの産業が新しいビジネスモデルを粉碎しようと、或いは自らそれを吸収しようとすることは多分にあり得ることです。*Taxilobby* は *Uber* の差し止めを強く求めました。自動車レンタルの *Avis* はカーシェアリング・プラットフォーム *Zipcar* をさっさと買収しました。

**Rifkin** ; しかし私は、新しいモデルが完全に駄目にされるとは考えていない。何が代替するか？もっと早く、共同体モデルを設ける人々は全て、そして収益モデルのため自分達のデータが利用される我々皆が、益々政治活動を行うようになる。我々はデジタル化された時代に於いても、恐らく 19 世紀、20 世紀の様に新しい労働組合運動を必要とするだろう。

**Spiegel** ; 貴方はデータ利用やネットの中立性のために、或る種のグローバルなインターネット労働組合を考えているのでしょうか？

**Rifkin** ; その通り。既に人類の半分は間もなく何らかの方法でデジタル製品を生産し、分け合い、データを供給する状態になる。彼等は一切利益代表を持たない。我々はやがて仕事とデータが第 3 者によって金儲けのために使われることのないよう保証する協同組合 (*Genossenschaft*) 乃至はその他の協定の出現を見ることになる。

**Spiegel** ; それは現在尚純粋な願望思考です。

**Rifkin** ; その様な事態がやってこないと推則することは、対抗策としてうぶなものだ。1 億、いや 10 億人もの人々が彼等のデータや仕事がどの様に第 3 者によって金に変えられるか長期に亘り見ることに？私はそんなことは決して上手く行かないと確信する。

**Spiegel** ; リフキン先生、この度の対談深謝します。

後書 :

筆者は 50 年前、Rifkin 教授が現在おられるペン大のウォートン・ビジネス・スクールに留学、ファイナンスを専攻したが、そこで”アメリカの経営学”も学んだことを思い出す。その後 1969 年から 70 年代にかけ西ドイツに 7 年間金融関係の仕事で駐在した。EU で一人勝を誇るドイツだが、ここにきて経済、社会に様々な歪の徴候も顕在化してきた。ドイツ産業界・経済界のリーダー達はこの対談から何を読み取るか大変興味が湧く。

(了)